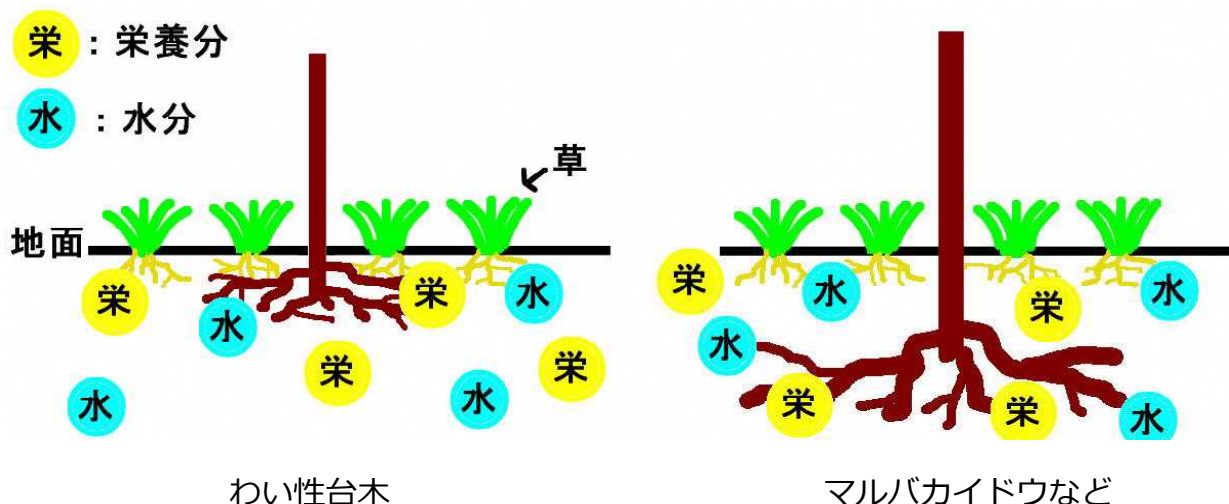


# 草生管理



わい性台樹では根域が浅いため、雑草との養分競合が起こりやすくなっています。特に春先の施肥は大部分が雑草に吸収されています。草生管理はしっかり行いましょう。

## 草刈りと除草剤散布～上手に使い分けよう～

それぞれ長所と短所があるので、園地にあった方法を選択しましょう

### 草刈りと除草剤の違い

	除草剤	草刈り
長所	抑草期間が2か月程度あるため、省力的	刈り取った草を樹冠下に敷くことで、土壤の乾燥防止や有機物還元の効果がある
短所	コスト（薬剤費）がかかる	最盛期には月2回程度の作業が必要

### ポイントは「草丈30cm以下」

草刈りと除草剤散布のいずれも草丈30cm以下の時期に行いましょう。

草丈が30cmを越えると、草同士が重なり合うため、除草剤散布の場合は薬剤が十分にかからず、効果が低下します。特に、草丈の低い草は高い草の陰になるため、薬剤がかかりにくくなります。

また、草刈りの場合も、草をなぎ倒すことが多く、刈り残しができやすくなります。

## 除草剤にもいろいろある

### 除草剤の種類

	効果	商品名	留意点
吸収移行型	雑草の茎葉から吸収されて全体を枯らす	ラウンドアップ マックスロード など	ひこばえにかかると奇形葉になることがあるため、散布前に刈り取り、かからないようにする
接触型	薬液がかかった部分を枯殺する	ザクサ液剤 バスタ液剤 レグロックス など	雑草全体にかかるように十分量散布する

### こんな園地にこんな剤

	代表的な雑草	効果的な剤
1年生雑草が多い園地	スズメノカタビラ メヒシバ タネツケバナ ハコベ 等	接触型
多年生雑草が多い園地	クローバー ギシギシ タンポポ 等	吸収移行型

剤によって使用方法が異なります。

使用上の注意をよく読んだ上で、安全基準を守って使用しましょう。